

ぎかいだよりむらやま



写真/
若手でがんばる
坂井陽一郎さん

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→



2014
vol.82

2014年7月15日
発行

一般会計 補正予算

1億2千215万5千円追加

総額

121億4千215万5千円

平成26年第2回
定例会は6月

10日から24日までの
会期で開催され、条
例や請願、補正予算
などを審議しました。

条例

○村山市放課後児童健全育成
事業に関する基準を定める条
例

子ども・子育て関連三法が
成立し児童福祉法が改正され

たことに伴い、放課後児童健
全育成事業に関する基準を定
めるため、条例を制定するも
の。

○村山市市税条例の一部を改
正する条例

地方税法の一部改正に伴い、
法人市民税、軽自動車税及び

国民健康保険税について所要
の改正と整備を行うもの。

○村山市福祉医療費の支給に
関する条例の一部を改正する
条例

県の子育て支援事業の外來
通院費無料の対象を小3まで
拡大することに伴い、被保険
者等の所得確認が必要になる
ため、医療証の交付方法を
変更するもの。

また県のひとり親家庭等医
療事業の支給対象者に「配偶
者が裁判所からのDV保護命
令を受けた者」を加えたこと
により支給の対象者を変更す
るもの。

○村山市火災予防条例の一部
を改正する条例

消防法施行令の一部改正に
伴い、屋外における催しの防
火管理体制の構築を図るため、
条例の一部改正を行うもの。

このほか請願1件
を採択、継続審査1
件を不採択、議員発
議4件を可決し閉会
しました。



工事が進む東北中央自動車道（名取地区）

補正予算の主なもの

1. 情報化推進費（番号制度導入によるもの）
21,326千円
2. 保育士派遣委託料
17,912千円
3. 農業費（多面的機能支払交付金）
20,485千円
4. 除雪費（消雪道路工事請負費）
19,200千円
5. 非常備消防費（防寒衣）
5,249千円

多面的機能支払交付金とは

- 地域資源の保全活動（水路の草刈り、泥上げ、農道の路面維持、冬期間の除雪など）
- 地域資源の質的向上を図る共同活動（水路、農道、ため池の軽微な補修など）

その他

○権利の放棄について

(全会一致で可決)

鉱業権(石油・可燃性天然ガス)を鉱業法の一部改正に伴い、事業着手延期が認められなくなったため、これを放棄するもの。
○固定資産評価審査委員の選任について (同意)

荻野 祐助氏(大久保)

○人権擁護委員の推薦について (同意)

工藤 一男氏(河島山)

○農業委員会委員の推薦(同意)

齋藤 眞知子氏(林崎)

請願

○手話言語法制定を求める意見書の提出に関する請願

(全会一致で採択)

○「労働者保護ルール」改悪反対を求める請願(継続審査)

(賛成少数で不採択)

発議

村山市議会全員協議会など全ての会議を原則公開するため条例及び規則の一部改正するものなど(4件)

(全会一致で可決)

土地開発公社・余暇開発公社・体育協会 経営状況

土地開発公社経営状況

平成25年度は、継続事業として住宅団地2箇所の残分譲地9区画の完売に向け、特に村山市が販売する楯岡二日町タウン(旧楯岡中学校跡地造成)の分譲活動と協力・連携して県内だけでなく、東北六県、関東地方まで宣伝活動を行いました。その結果、河島山ニュータウンは処分を保留している9区画を除く残2区画を完売し楯岡北町グリーンタウン残7区画のうち1区画について販売することができました。

【河島山ニュータウン】

平成18年度以降、分譲実績がなかったが、2区画販売し完売と成り、残り9区画については、地域内の降雪状況や除排雪の実態について河島山自治会と協議した結果、「恒久的な雪押し場」としても活用するため処分保留としたものです。分譲区画数は187区画が販売分譲済みとなり、住宅建築区画数は174区画でその内住宅建築が完了して入居しているのが161区画で568人となっています。

【楯岡北町グリーンタウン】

分譲開始後10年目であるが、23・24年度は分譲実績がなく、市外の方に1区画を分譲し、38区画のうち、32区画が販売済です。未分譲区画は6区画がありますが、保育料半額など子育て支援施策をアピールしながら完売を目指すものです。

余暇開発公社経営状況

当期末未処分利益金 2千660万円

余暇開発公社は、クアハウス基点、道の駅むらやま、レストハウス東沢の3施設は、平成25年度から新たに3年間の指定管理を受けスタートしました。

【クアハウス基点】

クアハウス基点では、長年の懸案であった新温泉棟が昨年6月15日にオープンし、他に類をみない眺望露天風呂が好評となり、市内外の利用者で連日大入りの賑わいが続き、対前年より比べると17.5%増となっており、この利用状況を継続拡大するためにも、リニューアル計画に基づく改修を期待するものです。



連日賑わう温泉受付

【道の駅むらやま】

オープン15周年を経過しています。昨年7月に豪雨災害による断水・電気料金・食品等の値上げが実施されたことに伴いやや勢いを失い、平成25年度当期利益金は前年度より16.9%の減となりました。

村山市体育協会経営状況

一般財団法人村山市体育協会については、市で四分の一以上出資している法人に該当することから、地方自治法の規定により、議会に対し、その経営状況について報告があったもので、主な事業は次のとおりです。

1. 生涯スポーツ推進
 - ①全国居合道さくらんぼ大会
 - ②徳内マラソン&ウォーキング
 - ③村山市一周駅伝
2. スポーツ少年団等少年期スポーツ活動育成

6月議会 全国市議会議長会 議員10年以上

3名の議員に表彰伝達を行いました。



△右から▽

- 佐藤昌昭 議員
川田律子 議員
鈴木健治 議員

ここが聞きたい 一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は
6月12日・13日に10人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



観光誘客は地域経済の発展に

長南 誠 議員

Q 村山市にはバラ公園の観光地が存在するが、常に住んでいる私達が感じていない、想像することも出来ない、「売り出せる観光素材」が多くあることにも気付く。これらを生かした独特の観光誘客は意味あるものと思う。観光の果たす役割をどのように捉え、今後の観光の方向付けをどう考えるか伺う。

A 観光の役割は重要視は存在するが生かしきれしていない。市民が気付かない名所を掘り起こし、観光客の増加に結びつきたい。その事が地域経済に効果をもたらすと考える。

Q 幕井ランド計画における大型子ども遊び場を計画してはどうか。
A これから計画の段階で、子ども遊び場は

必要と思う。規模、内容については第5次総合計画に挙げ検討する。

Q 山形デスティネーションキャンペーンの村山市における事業と、その効果をどのように捉えているか伺う。

A 市民の代表を選び案を練ってもらい事業

を計画した。市民に伝わっているかは難しい。最大限の力を入れ誘客を図りながら、途中で直していく。良いものを繋げて地域経済の発展を図る。
Q 基点温泉北側団地への温泉水販売を促進してはどうか。



体験の出来るジュンサイ摘みと箱舟



農業委員会制度の改正で、 優良農地は守れるか

佐藤敏彦 議員

Q 第5次計画では、基本的な目標人口の設定をどのように考えているか。人口計画は他の計画におよぼす影響が大きいので、精度を上げて計画すべきと考えるが、どうか。

A これまでの人口の減少の要因は、若い人

の市外への流出、出生数が減ったことが大きい。これまでの計画は、人口増、右肩上がりが通例であったが、今後10年後推定される本市の人口は、2万2千人である。これにプラス要因を含め2千人増の2万4千人ぐらいかどうか検討する。市民

の意向をどのように取り入れるかは、審議会と相談する。策定までの審議会は6回開催予定。

Q 農業委員会制度の見直しを検討されているが、どのように受けとめているのか。

A 農業委員会制度は、昭和32年に発足し57年が経過した。農業委員は農業者の代表として、農地の権利調整はじめ、農業全般にわたる問題解決を図ってきた。農業委員会の果たす役割は、公平公正を基調とした法令業務、農業振興業務、建議及び諮問に対する答申業務の三つだ。農業委員会がなくなると農地の許可制度が廃止され、耕作目的の権利移動から投機目的の権利移動が想定され、安定的な農業経営ができなくなる。



優良農地を守る農業委員会の役割は重要だ



楯岡高校を中核とした リノベーション

井澤秋雄 議員

Q 楯岡高校の現施設の活用も考えた全天候型総合スポーツセンターなども国の提唱するリノベーション事業（都市再構築）の活用例として提案したい。

A 第5次総合計画でも選択肢の一つとしてリノベーション事業の該

Q 人口減少社会におけるまちづくりの方向性として、優先度合い、緊急性、必要性について市民に公表しながら計画的段階的に政策を進めるべきであると思う。

A 考え方として面白い。検討してみたい。

Q このほど、有識者でつくる政策発信組織「日本創生会議」の人口減少問題検討部会は、若い女性の流出により、2040年には全国自治体の半数近くが消滅の危機に直面するとして、こ

れを防ぐに、魅力ある地方の拠点づくりを提言し反響を呼んでいる。これを受けて、直ぐに緊急対策本部を設置して反応した自治体もある。村山市も何らかのアクションを起こすべきでないか。

A 村山魅力アップ女性会議でもスタートさせてはどうか。なかなか面白い発想と思う。検討してみたい。



村山の「再構築の核」として活かしたい～県立楯岡高校



自治組織の再構築を望む

布川 淳一 議員



きれいに咲きました「バラの吊し飾り」 楯岡地域市民センター

る人もいる。自分の仕事を投げ打ってまで地域のためにやるのは趣旨に合わない。

Q 改正された行政委員の報酬の六段階区分は、論議を呼んでいる。見直す考えはあるか。また、各自治会に対し今年度交付される予定の、行政連絡負担金が個人口座に入金されるのは不透明だ。見直しを望む。

A 段階区分については、随時見直して行く。行政連絡負担金の個人口座への入金に関しては過渡期なので、今後考えていく。

Q 現在135地区ある自治組織の見直しは出来ないか。

A 地域性や自主性を考えなくてはならないが、効率が悪くなっているのも事実である。一考の余地がある。

Q まちづくりの最前線で働く行政委員と自治会長の関係の見直しを望む。現在は全ての地区で兼任している。しかしながら委員の規則では「市民の友」の配布程度の仕事しか規定されていない。この際、自治組織

や行政委員の規則を見直し、あやふやな状態を解消すべきだ。
A 条例に欠陥があると、委員と言う名称を含めた改革を検討中である。行政委員の仕事は調べれば判ると思うが混同してい



医療・介護総合法案は制度改悪法案では

川田 律子 議員

Q このたびの医療・介護総合法案は、社会保障の基本を「自立・自助」とする方針にもとづき医療でも介護でも個人や家族に負担を押しつけ国が手を引く方向。本市高齢者への影響と対策を問う。①要支援1・2の訪問、通所介護が保険制度の枠外になるが現利用者の受け皿はあるのか。

A ①現在要支援1・2は250人。代替サービスが市の事業として受けられるようにしていく。②特養入所者227名中62名が要介護1・2。このまま入所出来る。今後やむを得ない事情の方は特例として入れる予定。③全国では2割だが、本市では5%以下と推定。④県で地域医療構想をつくる。具体的な内容はまだ未定。⑤残念な結果となったが検証は済んでいる。各施設に管理体制の強化見守り、危機管理の徹底など、再び事故がおきないように図っていく。

Q 現在135地区ある自治組織の見直しは出来ないか。

A 地域性や自主性を考えなくてはならないが、効率が悪くなっているのも事実である。一考の余地がある。



村山市内の地域密着型 特養ホーム（むらやま）



認知症高齢者対策として GPS対応を

能登淳一 議員

と思う。

Q 認知症高齢者の徘徊
行方不明対策が全国的
課題であるが、家族の
安心、及び施設の危機管
理の点からもGPS活用
が有効なのではないか、
さらに地域包括ケアシ
テム構築の中で検討すべ
きではないか市長に問う。

Q 市教育基本計画素案
の中で豊かな感性の
醸成あるいは、故郷の為
に尽くそうとする人間の
育成とあるが、その具体
策について教育長に問う。

A これまで取り組んで
きた学校行事、地域
に根ざした行事体験、さ
らには地域、家庭、学校
と連携した体験を通じて

A 地域包括システムも
含め、GPSの活用
も今後検討する必要がある。



期待される介護福祉施設（袖崎中跡地）

素直な子供達の感性を醸
成するとともに、自然な
どへの畏敬の念も大切に
しながら醸成したい。故
郷の為に尽くそうとする
人間の育成についてはG
OGO村山夢体験事業を
通じて、身近な村山市を
体験させ故郷に関心をも
ってもらい愛着を感じて
もらう。

Q 企業コーディネータ
ーのさらなる活用につ
いて問う。

A 受注のマッチング等
で成果を上げている。
また職場環境向上にも貢
献していると認識して
さらなる活性化の為に努
力してもらおう。

Q 新しい米政策の対応
について問う。

A 多面的機能支払部分
の畑地部分が村山東
根土地改良区管内で対応
出来ないが早急に対
応したい。

Q 素直な子供達の感性を醸
成するとともに、自然な
どへの畏敬の念も大切に
しながら醸成したい。故
郷の為に尽くそうとする
人間の育成についてはG
OGO村山夢体験事業を
通じて、身近な村山市を
体験させ故郷に関心をも
てもらい愛着を感じて
もらう。



公営の保育所、自園・自校直営の 給食を守れ

中里芳之 議員

Q ①来年度から実施予
定の子ども・子育て
新制度は、子ども・保護
者・保育者の視点でみれ
ば様々な問題がある。ど
う認識し対応していくの
か。②市の事業計画「あ
いあるプラン」骨子では、
平成31年度に見込まれて
いる公営の保育所等は3
施設だけだが、ひばり・
戸沢保育園も民営化する
のか。また、子ども園へ
の変更を検討している児
童センターも、統合しな
がら民営化するのか。③
保育ニーズに対応できな
いのは公営だからではな
く、行革の下で正規保育
士を削減し、臨時につい
ても待遇改善をしてこな
かったからではないか。

Q ①法令を無視し保育
士を削減することは、中
学校の民間委託給食は開
始早々に食中毒を起し
た。民間委託では、高度
の専門性・熟練が失われ、
質とおいしさ、安心・安
全に對する心配はな
い。②27年度は白紙にす
る。

Q ①自園自校方式の村
山市の給食は、50年
の歴史の中で食中毒を起
こしたことがないが、中
学校の民間委託給食は開
始早々に食中毒を起し
た。民間委託では、高度
の専門性・熟練が失われ、
質とおいしさ、安心・安
全に對する心配はな
い。②27年度は白紙にす
る。



市の新プラン（骨子）では、公営保育施設は3施設だけ

Q ①自園自校方式の村
山市の給食は、50年
の歴史の中で食中毒を起
こしたことがないが、中
学校の民間委託給食は開
始早々に食中毒を起し
た。民間委託では、高度
の専門性・熟練が失われ、
質とおいしさ、安心・安
全に對する心配はな
い。②27年度は白紙にす
る。

Q ①自園自校方式の村
山市の給食は、50年
の歴史の中で食中毒を起
こしたことがないが、中
学校の民間委託給食は開
始早々に食中毒を起し
た。民間委託では、高度
の専門性・熟練が失われ、
質とおいしさ、安心・安
全に對する心配はな
い。②27年度は白紙にす
る。

Q ①自園自校方式の村
山市の給食は、50年
の歴史の中で食中毒を起
こしたことがないが、中
学校の民間委託給食は開
始早々に食中毒を起し
た。民間委託では、高度
の専門性・熟練が失われ、
質とおいしさ、安心・安
全に對する心配はな
い。②27年度は白紙にす
る。



若者が住みたいまちづくりを

茨木久彌 議員

Q 若者の定住減少に歯止めがかからず将来本市の活力の停滞が危惧される。その要因として雪の問題が大きな課題となっている。雪に強く快適な生活が出来る環境づくりが急務である。そこで市内の住宅密集地である楯岡地区東部、楯岡商

A 店街の流雪溝の計画は。雪に対する対応は、雪の一番に考えている。流雪溝については今回市内全域の水源等について調査を実施する。県道である楯岡商店街については流末処理等について県と相談し対応していく。

Q 若者の定住には雪に強い宅地いわゆる雪を流雪出来る宅地を提供しなければならぬ。土地開発公社が年次計画で実施してどうか。また市外からの宅地購入者に対し優遇策の考えは。

A 土地開発公社には現在約3億円の資金がありそれを活用するよう考えていく。市外の購入者への優遇策は検討する。
Q 郷土への愛着は子ども時代から育つものであり将来の定住に繋がると思う。教育現場における郷土愛の指導についての考えは。

A 各地域の市民センターにある資料等を参考に、教師生徒と一緒に勉強したい。

Q 交流人口拡大と経済効果の大きい新むらやま定期市の開催を。

A 第五次総合計画の中で検討していきたい。

Q 保育士不足が顕在化しているが、現在は非常事態とも呼べる状況だ。市内公立保育園の民営化も含めて不足解消に動かなければならないが、執行部の対応は遅いと感じている。今回補正予算に保育士の派遣業務委託料が計上されたが、それでは根本的な解決にはならない。不足分9名を正規職員として雇用すれば良いが、それは行財政改革の視点から不可能。ではどのような解決策があると考えるか、執行部の見解は。また子育て新制度移行に伴う市内児童センターのあり方と、保育士不足解消は別問題だ。既に一時預かりの受け入れを断っている事例も出てきている。保育士不足解消は喫緊の課題なので努力してもらいたい。

A 保育士の派遣業務委託に関しては緊急避



公立保育園の充実のために

長谷川 元 議員



子供達の安全の為に保育士の確保を

難的に行うもので、時間的にも今年度のみと考えている。根本的な解決のためにもベストミックスを探し努力していく。

Q 村山市のブランド力を上げていくために、職員の適材適所の配置など考慮すべきでは。

村山産業高校との連携などで、例えばご当地ナンバーのデザインなどプロジェクト立ち上げできるはず。是非検討すべきと考えるがどうか。

A 村山産業高校とは今まで以上に連携したいと考えている。



流雪溝での消雪作業



楯高の跡地利用をどうするか

大山正弘 議員

Q 楯高跡地に、北村山公立病院の実習を兼ねた、看護師専門学校を設置を県に希望しては。

A 楯高高校を失うことは経済的にも損失は多大である。しかし看護師不足は現実的ではあると思っっている。県の看護

師学校は良いと思うが、知事は「むずかしい」と話している。

Q 県は、これまでの施策の成果を基にし、将来ビジョン実現に向け、福祉、医療、教育の充実とすれば看護師専門学校を当市でも強く要望して



元気に通学する楯高生徒たち

いくべきでないか。
A 看護師不足しているのは現状で間違いなし誘致するのも候補の一つとして認識している。県全体では平成23年末では、看護師の需要に対して供給の不足93人となっており、平成27年末の見通しでは不足449人となり縮小されるが、看護師不足は解消されない。

Q 楯高が28年から閉校するが、市当局としての今後の方針は

A 楯岡小学校建て替えの際の仮校舎としての利用を2年間利用させていただきたい。平成30年4月からとなるのでじっくり考えたい。市としても熱い思いはよくわかる。これからもいろんな人の意見を聞いて考え、市長としては学校関係が良いと考えている。県との交渉を前向きに進めて行く。

審議結果報告 (6月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政クラブ								青風会		日本共産党 村山市議団		無党派			賛成	反対		
			井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	森一弘	能登淳一	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	佐藤敏彦	布川淳一	須藤和幸	川田律子	中里芳之	佐藤昌昭			大山正弘	海老名幸司
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○			議	14
市長提出 条例 村山市市税条例の一部を改正する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2		
請願 請願3号 労働者保護ルール改悪反対を求める請願	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議	6	10		

正副議長及び監査委員は会派に属しません。また、議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。
 回=可決 罎=否決 ㊦=賛成 ㊨=反対 ㊩=欠席 ㊪=退席

トピックス 行政視察事後研修

各常任委員会では、初の試みとして視察内容について、事前の聞きとりと、所管の課へ報告会を開催しました。

【総務常任委員会】

南部町における達者村農業観光、農業体験修学旅行の受け入れの成功例が話題。野辺地町では、徳内翁を縁のある人物と認識しており、行政視察の対応も優れ、議員から感激の声が聞かれた。

【産業建設常任委員会】

事前に受けた質問事項について報告しました。
 ①京都市綾部市
定住サポート事業の就職及び転職支援の対応について。

②京都府宮津市

観光客の滞在時間延長策について。

【文教厚生常任委員会】

教育長、学校教育課、生涯学習課、保健課、福祉事務所と有意義な意見交換会を実施した。

議会報告会開催!

議会基本条例で定められた第5回議会報告会が開催されました。

今回は戸沢、大高根、大倉、袖崎の4地域で各市民センターごとに2班に分かれ開催されました。

議会報告会の内容は、26年度一般会計予算、特別会計予算の概要を説明し、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会での審議内容を報告しました。

その後参加された市民の皆様から質問や意見が数多く出されました。

各地域とも活発な意見が出されましたが、今回は各会場とも出席者が少なく周知の方法等も含めさらに検討することとしました。

市民の声を伝える大事な議会報告会です。多くの市民の皆様の出席を期待したいと思います。

市民からの意見・要望と対応

△大倉地区▽

- 流雪溝整備構想調査を予算化しているが、今後の整備を要望したい。
- 空き家問題対策（老朽化して危険な家屋がある）

- 猿の被害について、猟友会会員の高齢化など問題があるが、猟友会への補助増額など万全を期してほしい。
- 人口減少対策については、執行部とも真剣に話し合っしてほしい。

△袖崎地区▽

- 防災行政無線が更新されるようであるが、性能



袖崎地域市民センター

は大丈夫か。

- 市庁舎のLED化は一挙にするのか。
- 認定農業者の取りまとめについて、回覧板による周知ではなく、地元説明を要望する。

- 猿の被害対策で補助の状況はどうか。
- 人口減少対策について、保育料の半額補助ぐらいでは人が集まらない。もっとインパクトのある政策を考えるべきではないか。

△戸沢地区▽

- 条例改正で公園の入園料が値上がりしたが、どういう状況か。宣伝を上手にしてほしい。
- 予算というのは、村山市の将来に対する投資だと思う。120億の投資をすすめる中で、自主財源を増やせる見込みはあるのか。たとえば、自主財源の中の項目毎に年次目標を決め、出来るだけ歳入全体に対する自主財源の比率を高めていこうとする考えはあるのか。

- 土地開発公社が保有している村山市の土地の分譲実績はどれくらいか。また、企業誘致ほどの程度か。
- ひとり親家庭の学習支援について歓迎。外国人花嫁の子どもの学習支援についても要望する。
- 県道樽石線について要望する。

あるのか。

- 県外の研修に関して、他の市町村職員は参加しているが村山市の職員は参加していない。
- 職員は外部研修などへ積極的な参加を望む。
- イベント等を要望しても前例がないと断られるので、再考していただきたい。
- 若者支援に関して、県からの補助金制度を勧め

- 共栄橋を生かす方法を考えていると聞いたが、白鳥への直結について効果があるか疑問なので議論してほしい。
- △大高根地区▽

たが市側は動かさず活用に至らなかった。

- 消雪道路の勾配が強く、高齢者が歩けない。
- 流雪溝の調査費は予算に上がっているようだが、流雪溝の整備を要望する。
- 若い人が流出していくので、歯止めとなる政策を講じてほしい。
- 自治公民館の漏水について、なぜ山の内地区で支払わなければならないのか。半額の減免の理由を教えてください。
- 平林地区は、さくらホームと関わりをもたなければならぬのか。

【以上については執行部に対し報告致しました。】



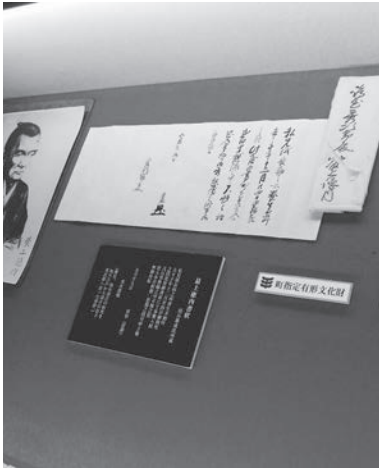
戸沢地域市民センター

百問は一見にしかず!!

よりよい行政のための 視察 レポート

総務常任委員会

青森県南部町、野辺地町 5/14～16



野辺地町立歴史民俗資料館に展示されている最上徳内翁の書簡

青森県南部町では達者村事業を視察した。達者村農業観光振興会が主となり農家と来訪者の交流を目的とした農家民泊で、農作業と観光を組み合わせた「通年農業観光」である。ただ消費者が観光農業を体験するだけではなく、生産者と消費者が交流する事に

主眼がおかれている点と、農家の所得の向上に寄与している点に注目した。また高齢者の学習事業「まべち笑楽校」についても視察した。次に同県野辺地町を訪れ、最上徳内翁の妻ふでさんの生家を訪ね、地元の方々と交流を深めた。



産業建設常任委員会

京都府綾部市、宮津市 5/12～14

綾部市では定住サポート事業を視察。人口減少する中、市長自ら「ふるさと教育」でふるさとの良さを子どもたちに訴え、定住促進を総合計画の第一とし、空



宮津市は天橋立がある有数の観光地である。「住んでよし、訪れてよしの宮津」をテーマとし、観

き家情報、都市部での交流イベント、田舎ぐらし体験など、住民と行政が連携して取り組んだ。平成20年以降17世帯、272人の定住者があり平均年齢36才である。また水源の里の取り組みについては、オーナー制度や特産品の開発・販売など確実な成果をあげている。



光革命アクションプログラムの策定した。行政、観光協会、民間が連携し、着地型旅行商品、土産品づくり、広域観光にと着実に成果が現われている。官民連携の重要さを学んだ。

文教厚生常任委員会

山梨県大月市、長野県茅野市、松本市 5/8～10



山梨県大月市、長野県茅野市及び松本市へ行政視察で訪問した。大月市では、幼稚園保育園（所）の統合と病院経営の改

茅野市では、茅野市子ども館で研修。茅野市では平成14年に策定された「茅野市こども、家庭応援計画」通称ドングリプランを政策の柱として子育て支援を進めている。特に15歳以上のこども等を対象とした「CHUK

革プランについて視察。幼稚園、保育園の統廃合については検討中で、10年後の予測では23%就学前児童数が減少するためこれらの解消が急務とされている。

松本市では、「健康寿命延伸都市」の取り組みについて視察研修を行った。〇らんどチノチノ（中高生広場）の利用者団体主導の運営が特徴的だった。



市民の声

体育指導員



升川 正太 さん (楯岡)

動しており、私も昨年リニューアルしたクアハウス基点でトレーナーという仕事をしながら練習や試合に参加しています。体を動かす事が好きなので人との関わり方や接し方を学びながら日々頑張っています。何より思う事は、健康でスポーツを楽しめる事の大切さです。より多くの住民が健康でいられるよう健康づくりの手助けをしていきたいと考えています。

また、村山市の子供達の為や生涯スポーツを楽しむ方々の為にも、全天候型多目的スポーツ施設が必要だと思います。



現役で活躍中

サッカーへの情熱を燃やし続ける理由、それはサッカーが大好きだからです。小学1年でサッカーを始め、今年で20年目。高校、大学では全国大会にも出場した経験を持っています。そして今現在は、東北社会人1部リーグの塩釜NTFCヴィーゼという宮城県のチームに所属しています。メンバーは皆おのおの仕事を持ちながら活



トレーナーの仲間

第4回 議会だよりクイズ

Q1：6月5日バラ祭りオープニングでデビューした村山市新キャラクターの名前は何でしょう？

- ①バラ
- ②ムラ
- ③アラ



Q2：6月定例会での補正予算額はいくらでしょう？

- ①1億2千215万円
- ②10億2千215万円
- ③2千215万円

応募方法

- 1、クイズの答え、住所・氏名、年齢をお書きのうえ、郵便はがきまたは FAX で応募ください。
- 2、正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
- 3、締め切り
平成26年8月11日(月)(当日消印有効)
<あて先>
〒995-8666 村山中央 1-3-6
村山市議会事務局
FAX (0237) 55-5005

議会の傍聴へお気軽においでください。

- ◎この度より本議会だけでなく全ての会議が原則公開となりました。お気軽においで下さい。会議の予定はホームページなどでお知らせします。
- ◎インターネット中継も配信中
詳しくは、<http://www.gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>
村山市議会→議会中継(ライブ中継・録画中継、外部リンク)より

委員長
副委員長
委員

大山 正弘
川田 律子
秋葉 新一
能登 淳一
布川 淳一
長谷川 元
井沢 秋雄

議会だより編集委員会